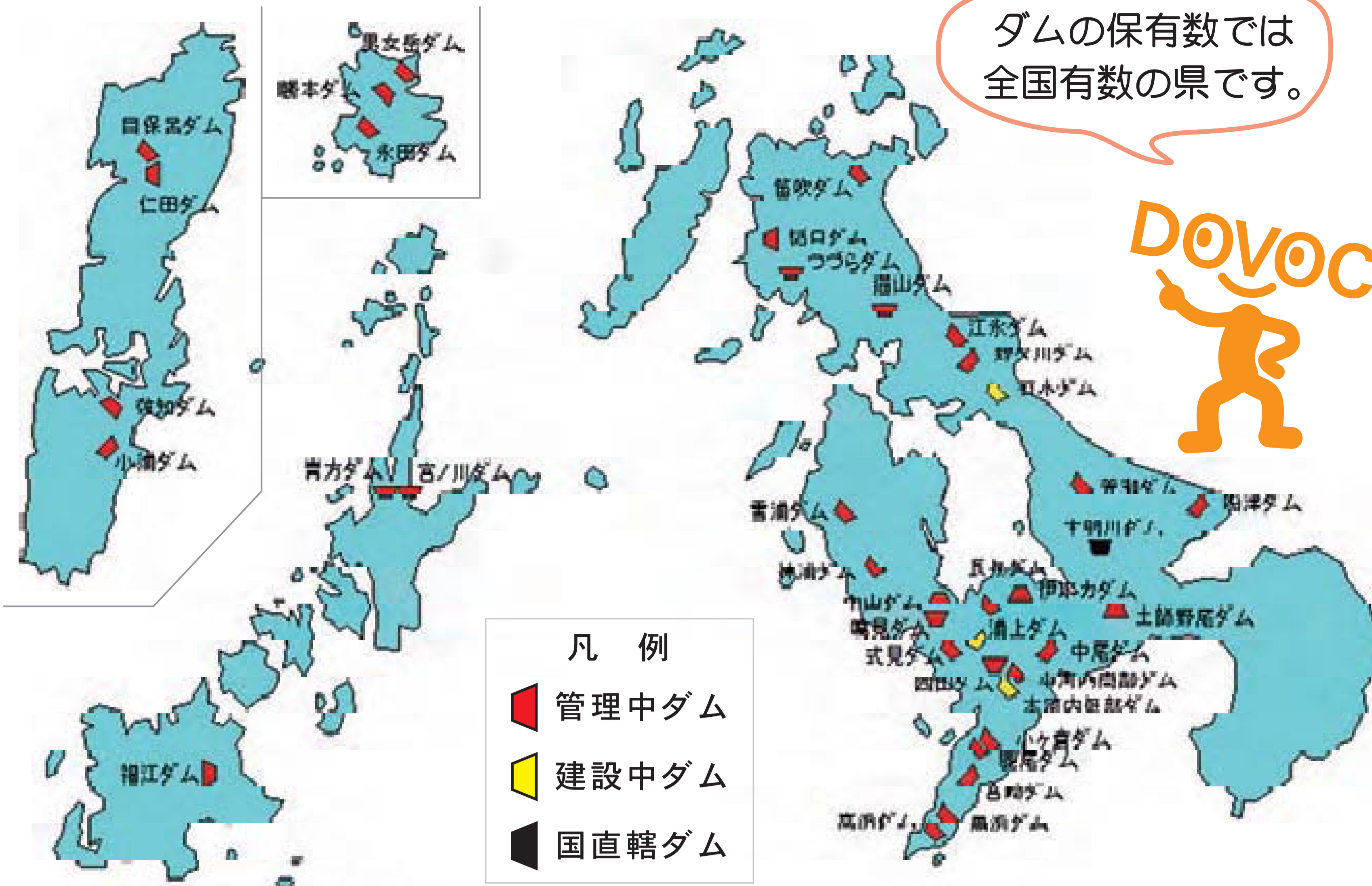


# ダムのもたらす役割

私たちが暮らす県土は、周囲を海に囲まれた細長い地形で山岳・丘陵が海岸まで迫っているところが多くを占めています。このため、河川の多くは延長が短く、急勾配で保水能力が低いことから、降った雨は一気に海まで流れ出るため、渇水や洪水が起こりやすい状況にあります。現在、県下で33箇所のダムが建設され、洪水被害の解消や水道用水の確保などに役立っています。

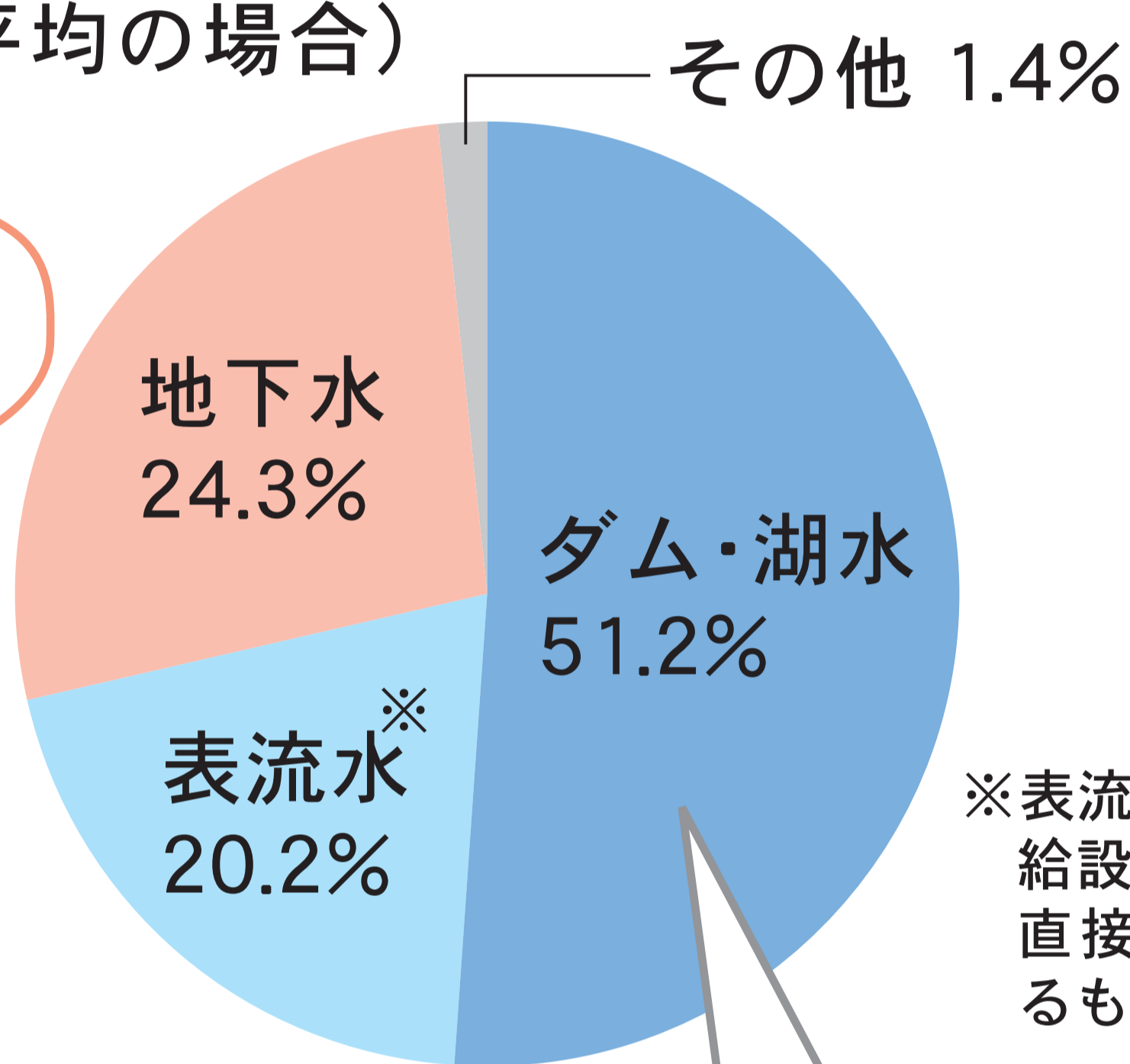
ダムの保有数では全国有数の県です。



## 長崎県内の上水道の取水源内訳

(実績1日平均の場合)

ダムの水は大切なんだね



※表流水:ダムなどの補給設備がない河川で、直接取水を行っているもの

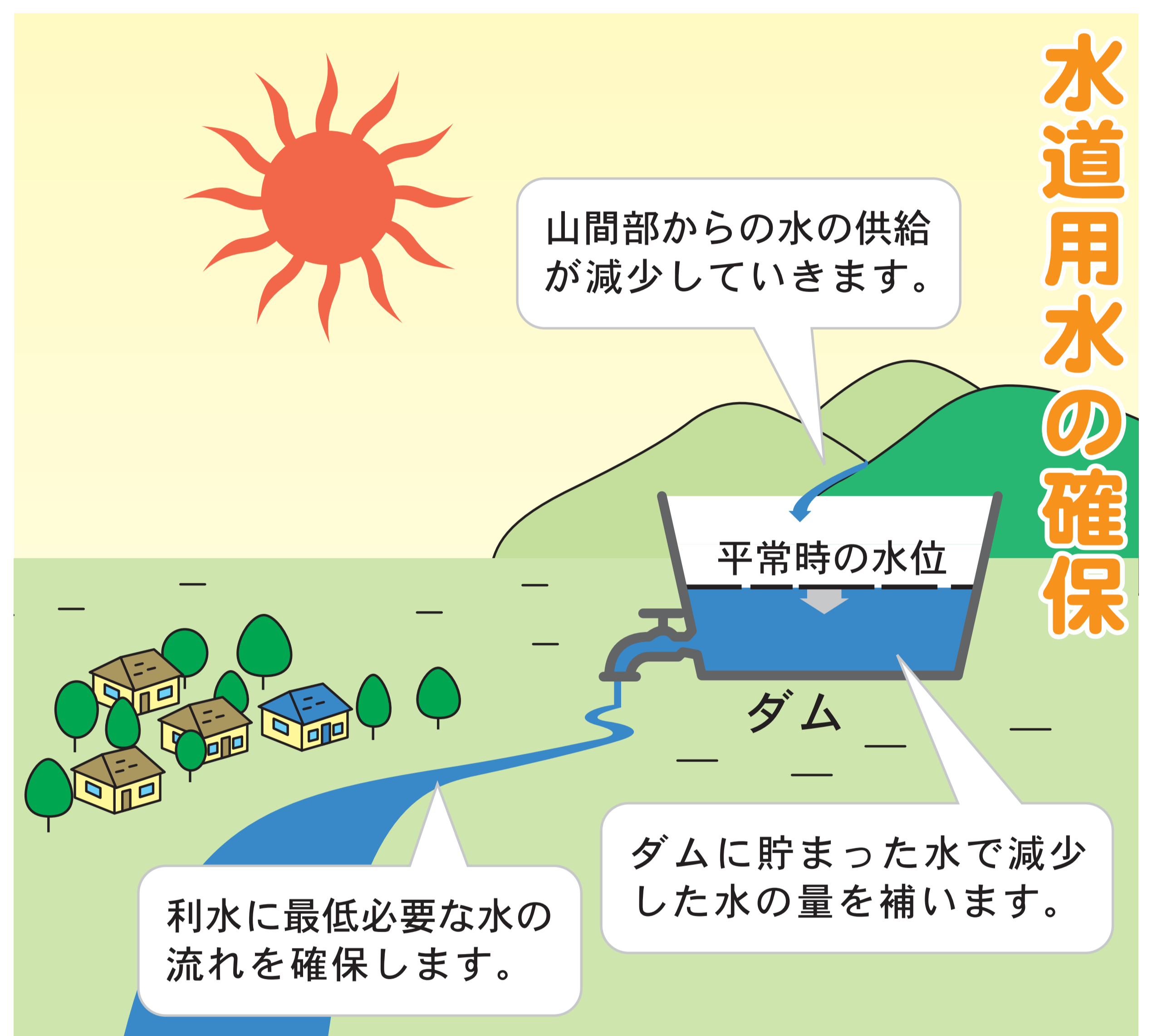
長崎市では...



約90%をダムから供給

市民が使用する水道水の量の約90%がダムから供給されています。

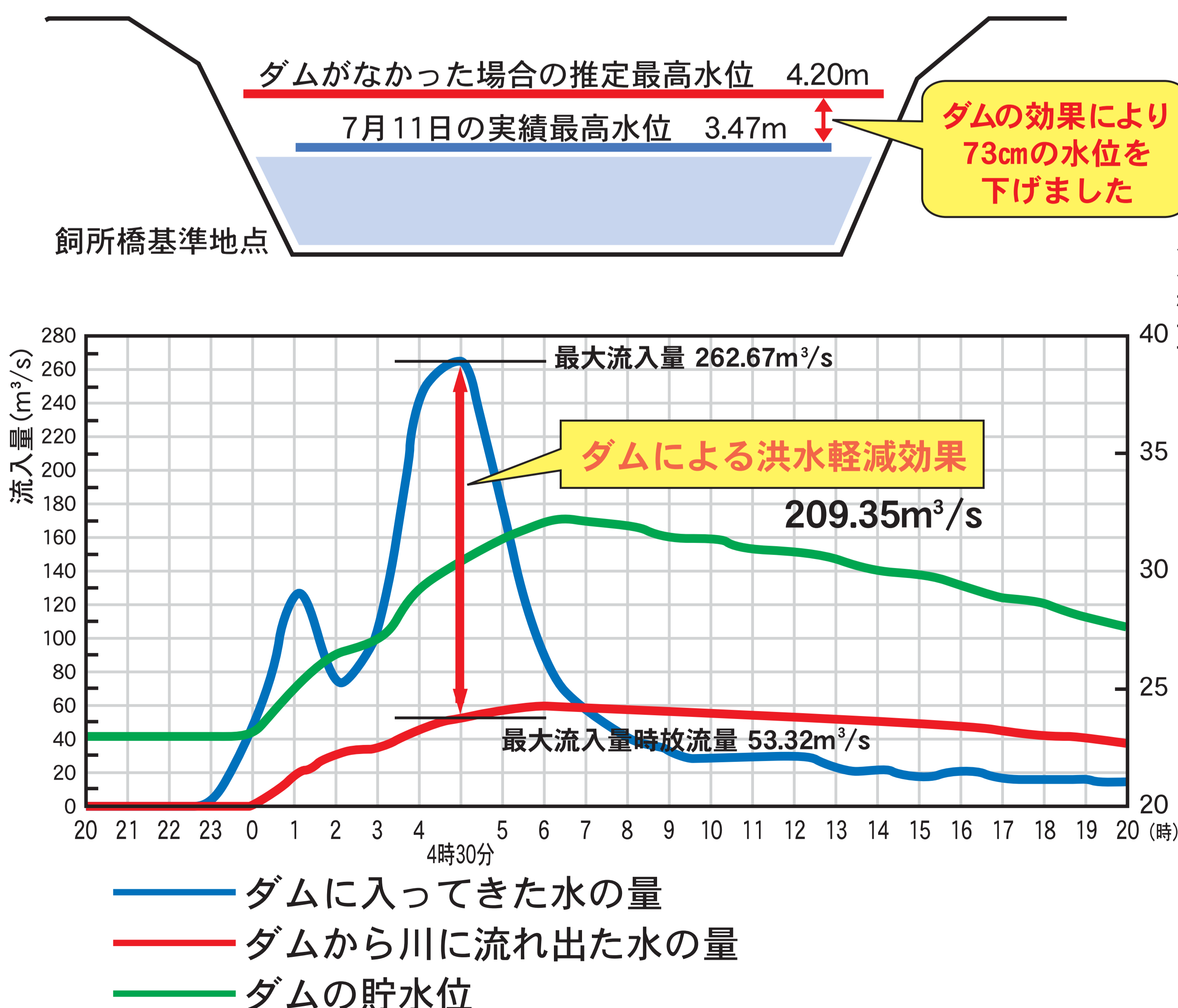
## 水道用水の確保



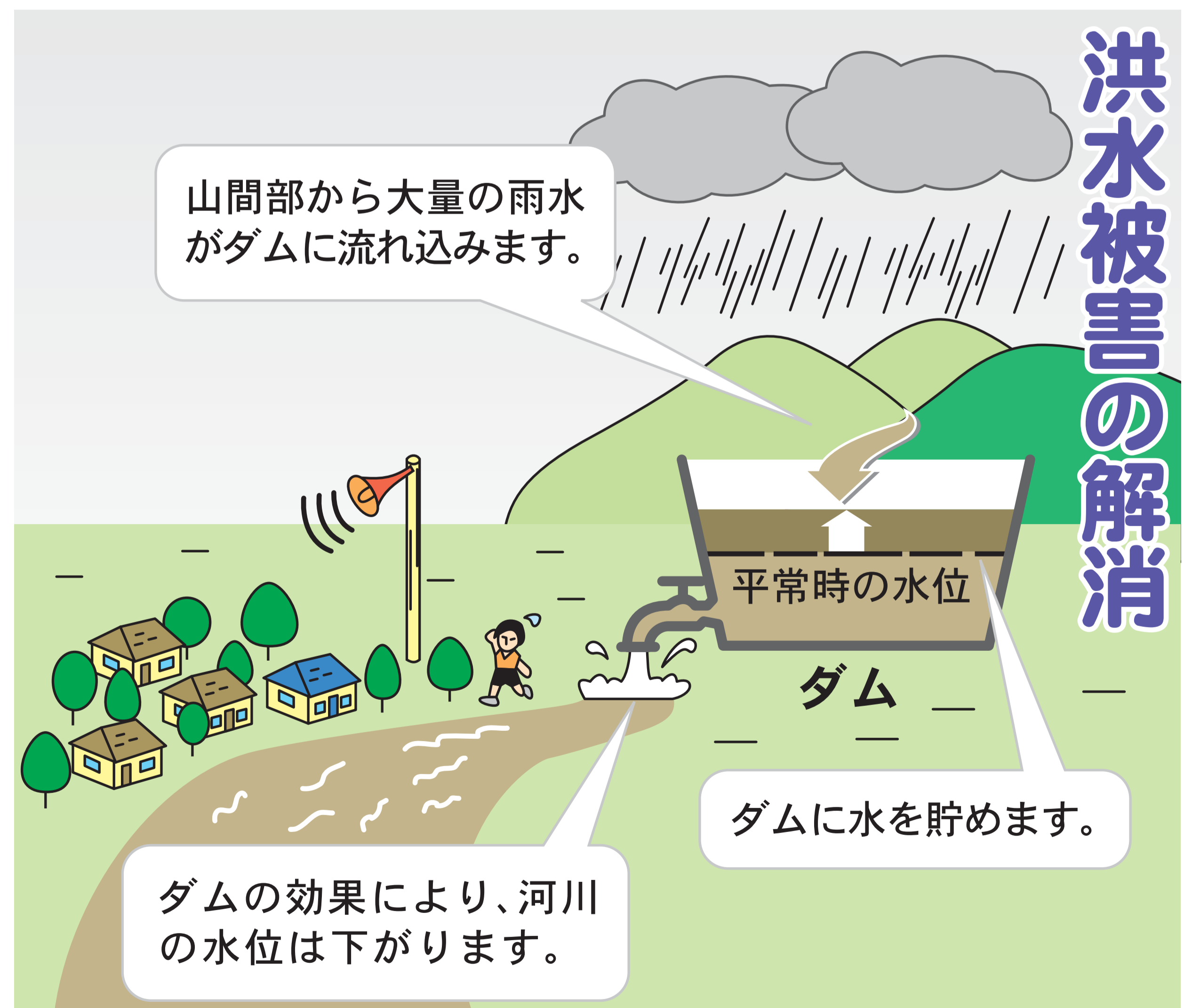
■晴天が続き、川に流れ込む水の量が少なくなった場合、必要な水の量を確保するために、**ダムに貯めてある水を適宜、活用**します。

## 平成22年の洪水調節効果の事例

目保呂ダム(対馬市)・7月11日(時間最大雨量53mm, 日雨量256mm)



## 洪水被害の解消



■上流に大雨が降ると大量の水が川に流れ込みます。ダムは一時的にその水を貯めることで、**下流への水の量を調節し、川の水位を下げて、洪水被害が発生するのを防止**します。